

# 破天荒

教宣部

4996号

2015年

9月17日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合



# 本日秋闘 要求提出日団交

第42 回目の定期大会も終わり、今日は諸労働条件の改善を求める要求提出を行います。十数年何の改善も無いわけですが、何を求めているか知ってもらいたい。

### 労働協約の復活

二十年前、会社が一方的に破棄した項目の復活です。読み返してもなぜ削除する必要があったのだろうか疑問です。

### 福利厚生補助金

協約で、毎年秋に金額を交渉・協定することになっています。パート嘱託に關しても予算対象に入れるよう要求します。

### 定年特別加算増

確定給付企業年金規約とは別に1カ月の賃金が支払

われませんが、勤続二十年以上十年以上の者はもう少しあつてはいいのではないかと主張です。

### 時間外手当増

時間外手当の割増率を増やすよう要求します。人員補充・仕事が終わったらさつさと帰る。当たり前のことではないですか？

### 3：7要求

会社は求人の良いアピールになつていても発言していません。現在、厚生年金4・65：5・35の法以上の補助があるのに求人には書いていません。

### 国内出張旅費

消費増税・東京オリンピック・外国観光客の増加で宿泊費は値上がりしています。実費+ご苦労さん代だとする旅費を見直す時期に来ています。

### 年次有給休暇

年休増を要求していま

す。年休の時間単位取得も協定すれば違法ではなくなっていますので、育児・介護にやさしい時間給の新設も求めています。年休積立制度も新設し、特別休暇の補填ができないか交渉をしていきます。

### 昼食費補助の増額

現在二一九円の昼食費補助が出ていますが、三百七円の補助(個人負担百三十一円)にするよう要求します。

### メンタル不全の休職期間

現在、メンタル不全で休職すると2年経てば解雇となります。ガンなどと同じ3年の休職期間となるよう要求します。

### 育児休業の看護休暇を有給

小学生未満の子供が怪我や病気で看護するとき、5日間の看護休暇はとれますが無給です。安心して働けるよう有給とするよう要求します。

### 休日増

来年から山の日が祝日として増えます。先ずは議事録に基づき休日の一増、次に十一月五日が日曜になった年は休日が一減ることの廃止、次に完全週休

二日制を求めています。

### 裁判員休暇

裁判員はパート・嘱託・管理職・役員でさえ可能性のある制度です。必要日数、有給となるよう交渉します。

### 甲種嘱託社員の最低賃金

五九歳の基本給の60%で協定するよう要求します。

## 二一五年度役員

### 執行委員長

稲岡 幸雄

### 福執行委員長

西村 浩一郎

### 書記長

川北 幸輝

### 会計

川口 喜弘

### 執行委員

杉浦 陽一

福井 晃

### 会計監査

柳川瀬 忠

松林 浩

## オーナー

オーナー企業。オーナーの顔を伺いながらの会社経営。オーナーの廻りはイエスマンが集まる。お客様第一主義と言いつながらトップに気にかけてもらうことが第一の管理職。

良く似ているのは学校の先生。生徒が好きで勉強やクラブ指導の夢も大きかつたはず。でも、生徒・児童が第一でなく、教頭・校長の顔色を伺うことが第一。教頭・校長は教育委員会の顔を伺う。

北朝鮮という国。トップは三代目。トップの顔を伺うことが一番。国民のための政治はない。

竹中は典型的なオーナー会社。創業者はカリスマ、神様。二代目は学者先生、現場経験からではなく学問での経営方針に見える。何より労働組合が大嫌い、弱体化させることに成功しているが、それ以外はどうなのか。決算の数字で利益を出すことは大切。

でも、決算書の数字は経営の二割三割の話。数字で表せない、計数化できないものの方が大きいのでは

